ほけんだより

H31.2.22 第1学年・ならの木 性教育号
奈良中学校保健室

第１学年・ならの木　授業参観「性教育講演会」 講師：中島桂子 氏
「大人になっていく君たちへ～命の誕生の現場から」を終えて



２月１８日（月）、第１学年・ならの木の授業参観では、中島助産院院長中島桂子先生による性教育講演会を開催しました。長年、第１学年とならの木学級の生徒たちに、「二次性徴」や「命の大切さ」についてお話いただいています。また、今年度も開催にあたり、熊谷市男女共同参画室にご協力いただきました。

日頃、私たちが当然のように使っている言葉や思い込みが、知らず知らずのうちに人の個性や能力を妨げていることがあります。「女（男）はこうあるべき」「男（女）のくせに」というように性別に基づき、生き方や考え方を押しつけたりすることは、個人の可能性を開花させず、その行く手を阻んでしまうこともあります〔女と男の情報誌『ひまわり』（熊谷市発行）創刊号より〕。男女共同参画室は、男女ともに生きにくい社会を創り出さないために活動しています。また、ＤＶ（親しい男女間での暴力）から女性（または男性）を守るための活動も大事な役割のひとつです。



司会進行：中田さん・熊田さん

さて、ここからは講演会でうかがったお話のポイントをまとめてみました。生徒のみなさんもしっかりと受け止めてほしいと思います。

人は弱い動物です。みんな自分が大事。でも、人はひとりでは生きていけないから、大好きな人や仲間や友達との関係、触れ合いやコミュニケーションを本能的に大事にします。赤ちゃんは生まれたその瞬間から、人を動かす力をもっています。赤ちゃんの笑顔や存在自体が、周りの人と人とを結び付けます。逆に、笑顔や触れ合いを受けられない環境の赤ちゃんは、生きることさえ、ままならなくなります。今こうしてここにいるみなさんは、必ず誰かのお世話を受けて、今、生きているのです。

なぜ、男子と女子の「性」があるのか？「それは命をつないでいくため」です。これは遺伝子にインプットされていることです。だから、人が人との触れ合いを求めるのも、動物としての本能です。でも、二次性徴を迎えた皆さんには、命を生み出す力が備わっています。ですから、そこには、生まれてくる命に対して責任が負えるのかという問題が生じてきます。中学生として望ましい男女の関係を考えなければいけません。

人は、ひとりひとりみんな違っていいのだけれども、人としてやってはいけないことがあります。それは、相手を傷つけることです。「性」とは、決して傷つけ合ってはならないものです。自分や異性の「性」を正しく理解して、あなた自身の心も体も、相手の心も体も傷つけないでください。また、男女の「性」に対して、もしかしたら違和感を感じている人がいるかもしれません。ただでさえ、思春期は感情のコントロールが難しい時期、じっくりと自分と見つめ合って付き合っていかなければなりません。

あなたに正しい知識を与えてくれるのは、インターネットからの情報ではありません。こうして学べる学校や保健体育の授業、そしてあなたの周りにいる信頼できる大人です。思春期外来という、専門家に相談できる場所もあります。高校生になっても、もし、射精や月経を迎えなかったら、一度相談しましょう。





さて、みなさんにとって「大人」とはどんなものでしょう？税金を払っている人も

大人です。私（中島）は、きちんと自分の考えを持っていて、冷静な判断ができる人だと思います。「みんながしているから」とか「かわいいから」「かっこいいから」と、人に惑わされることなく、行動できる人だと思います。しかし、正しい判断ができる大人になるためには、今からゲーム類に依存しすぎてはいけません。いわゆるゲーム脳は、個人的にも社会的にも、実はかなり深刻な問題です。ゲームではなく、気分転換する方法を身につけてください。頭の中を空っぽにする方法、脳を休ませることが、実はゲーム依存症（ゲーム脳）にならないために大切なことなのです。

最後に... 失敗を恐れないでください。生きていれば、やり直せないことはありません。大人になっても、失敗したり裏切られたり、色々なことがあります。でも、あなたを助けてくれるのも人です。これからの皆さんには、自分で決めた行動に対して責任をとることが求められます。我慢する場面も増えます。でも、我慢も大切だけど、助けを求めていいのです。本当に困ったときは、信頼できる人に相談してください... という温かいお言葉で、講演会は終わりました。

（昨年１２月のアンケート結果では）男子の約１０％が精通を迎え、女子の約６８％が初潮を迎えています。今まさに心も体も著しく成長している時期で、なかなか言葉にはできない沢山の不安や悩みを抱えていることと思います。子ども達に対して大人が真剣に「性について」「命について」伝えるべき時期だと思います。今回の性教育講演会が、お子様とお話しいただくきっかけとなればと願っております。

感想発表・お礼の言葉

「人は生きるために生まれてくる」という中島先生の言葉がとても心に響きました。人はひとりでは生きていけないので、支え合って、仲間や友達との関係を大切にしていきたいです。また、赤ちゃんは人を動かす力を持っていて、人との触れ合いによって成長していくことが分かりました。

自分達がこうして元気に生きていることは当たり前ではないことをお話を通して改めて感じました。これからは、命の大切さについて考え、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

今日は貴重なお話をありがとうございました。



お礼の言葉：髙橋幸汰さん　花束：門倉千穂さん